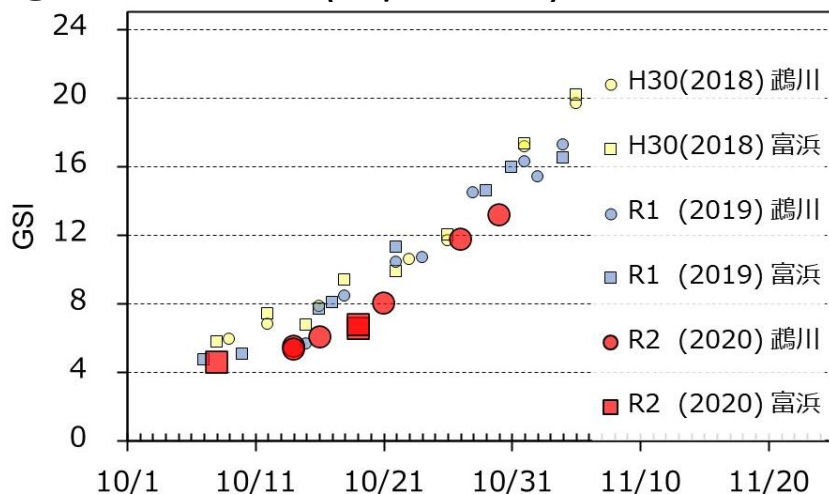


① 成熟の進行 (10/30現在)



10月30日までのメスのGSI (卵巣重量÷体重×100)の上昇は過去2年と比較すると低い値で推移しています。

図1 メスの生殖腺重量指数 (GSI) の変化

② 無選別標本の年齢別の体長組成

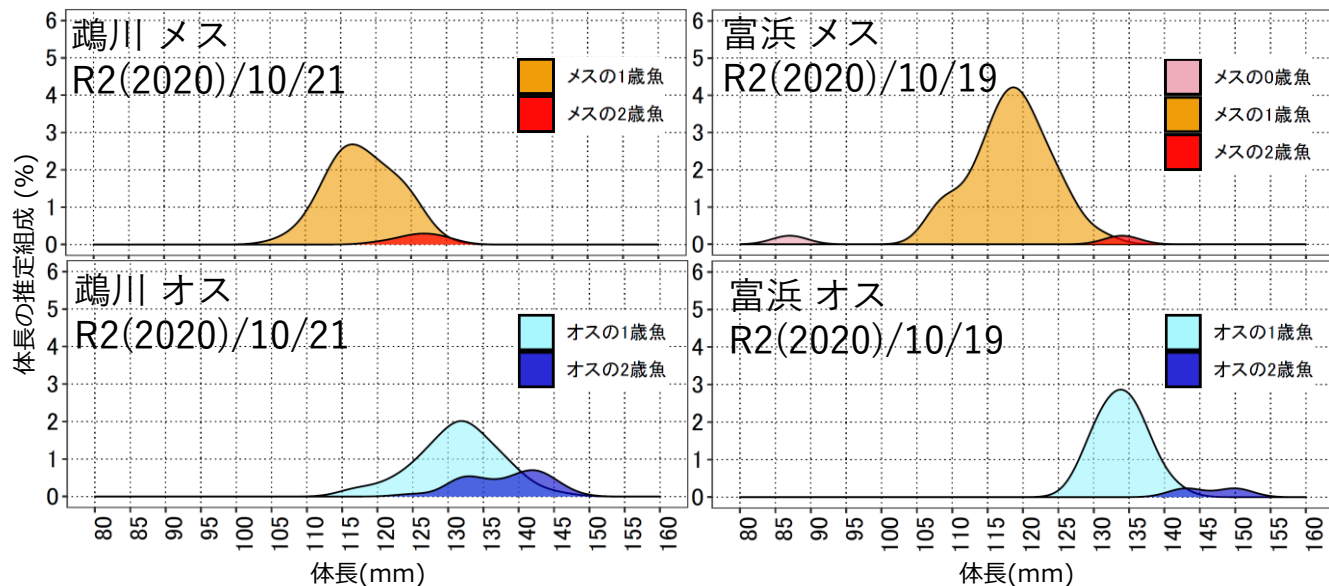


図2 シシヤモ漁獲物の年齢別の推定体長組成 (未成魚を除く)

- (1) メスで1歳魚:115~120mm, 2歳魚:125~130mm、
オスで1歳魚:130~135mm, 2歳魚:140~145mmに中心サイズが見られます。
- (2) オス2歳魚の割合は26.3%と過去2年の同時期よりも増加しました。
(オス2歳魚の割合はR1年(2019):20.5% ; H30年(2018):14.3%)

※ (2)のオス2歳魚の割合はR2年(2020)/10/21, R1年(2019)/10/22, H30年(2018)/10/16の鶴川無選別標本で算出

③ ししゃもこぎ網漁獲状況 (10/27・10/28現在)

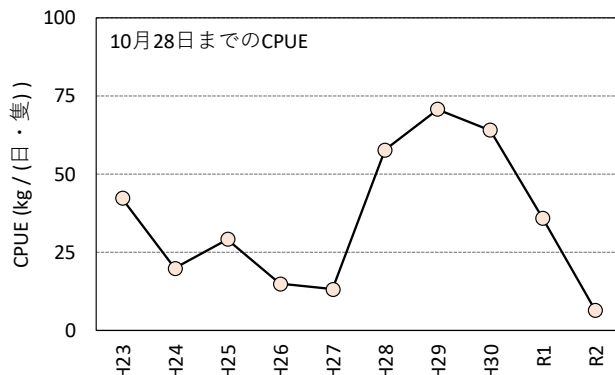
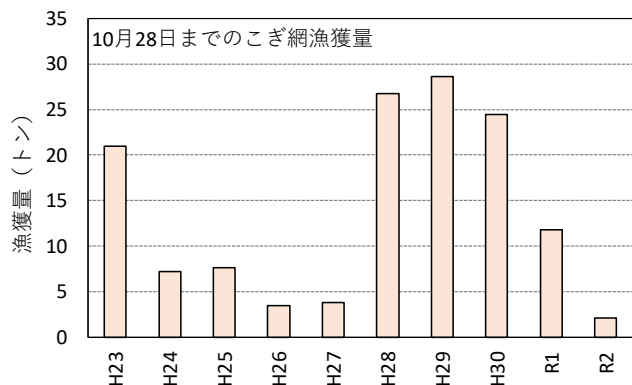


図3 胆振管内ししゃもこぎ網漁業漁獲量とCPUE (1日1隻あたりの漁獲量)

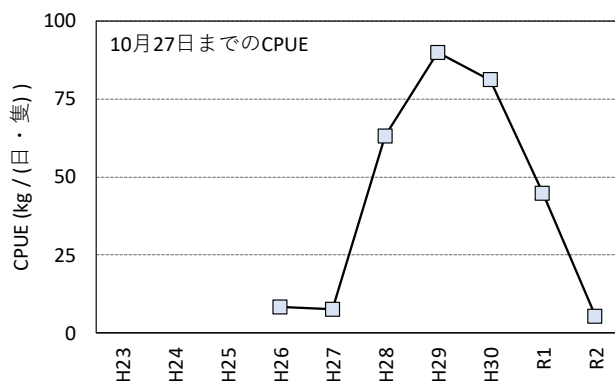
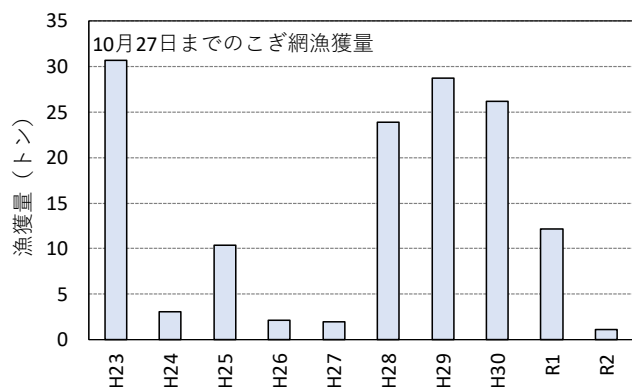


図4 日高管内ししゃもこぎ網漁業漁獲量とCPUE (1日1隻あたりの漁獲量)

現在までのししゃもこぎ網漁獲量は、平成23年（2011）以降、過去最低となっています。同じくCPUE（1日1隻あたりの漁獲量）も過去最低となっています。

今年度も11月はじめに遡上予測日を発表する予定です。